

授業科目	科目概要・形式	配当年次	オンライン参加
地域保健協働実践演習	1単位 30 時間(コマ) 演習科目	博士前期 1 年次 後期開講	☑・不可 (一部不可)
科目責任者	古川 照美		
担当者	古川 照美、清水 亮、瀧澤 透、新岡 大和、日景 静香 (非常勤)		
1. 科目のねらい・目標			
特定地域における地域保健福祉に関する健康課題・生活課題を、他職種とともにエスノグラフィー等を用いて明らかにし、住民との協働活動も視野に入れた、地域における包括的な課題解決を探究する方法を実践的に学ぶ。			
2. 授業計画・内容			
<p>エスノグラフィーと IPE、IPW、地域住民との協働活動について解説し、実践的なエスノグラフィーにより理解を深める。</p> <p>①日本における「地域」の課題と IPE、IPW</p> <p>②地域の健康課題のとらえ方 (エスノグラフィーについて)</p> <p>③特定地域における実践的なエスノグラフィー 事前に参加観察の依頼、インタビューガイドの作成、関連資料の検討等 実践的なエスノグラフィー (2 日間)</p> <p>④特定地域の健康課題・生活課題の明確化と構造的な理解</p> <p>⑤包括的な課題解決の考察</p> <p>⑥まとめ (地域のとらえ方・考え方)</p>			
3. 教科書、参考書			
4. 成績評価方法			
レポート・まとめ 60%、参加状況 40%(実践的なエスノグラフィーを行うことを含む)			
5. 受講要件			
前提として IPE、IPW に関する科目のため 3 人以上の履修者があって、開講されます。			
6. 社会人学生に対する配慮			
夜間及び土日開講としますが、フィールドとなる地域の状況によっては、平日の時間帯になる場合もあります。			
7. その他			
日程は、履修者決定後に調整します。			